議会だより

白山市

2016.2

vol. 43

CONTENTS

議会報告会

⑩… 皆さんのご意見を市政に
（白山ろく地域・千代野地区）

❷… 市議会12月会議での審議の概要
❹… 一般質問
❼… 行政視察報告
❽… 常任委員会レポート
❾… 意見交換会
⓬… 市民の声

作者／山崎真湖さん

表紙イラストは、金城大学短期大学部美術学科の学生さんに描いていただきました。

市議会12月会議概要　12月1日(火)～18日(金)

地方創生へ
山田市政２年目の手応えは
一般会計12月補正予算 4億9700万円を可決

12月補正予算（主なもの）

市民サービスセンター移転改修費	3050万円	冬期湛水実証実験事業	350万円
多世代参加促進事業	4310万円	ジビエ普及事業	455万円
わかみや保育所大規模改修及び耐震補強事業	1833万円	出城公民館建設実施設計業務	1592万円
環境保全型農業支援対策事業	308万円	地域介護・福祉空間整備事業	1億1426万円

11/24 補正予算内示会での質問と答弁

議員

多世代参加促進事業の*CCRC構想を説明せよ。また、市の、どの部署が対応するのか。

市

白山市と金城大学、佛子園が共同で推進していく。北安田町の施設を中核に３㎞圏内で高齢者の健康増進、学生との連携で地域・多世代交流等まちづくりを進めていく。担当部署は、企画振興部と健康福祉部が対応し、金城大学と佛子園と協議していく。

＊CCRCとは、「Continuing Care Retirement Community」（継続的なケアを提供する高齢者向けコミュニティ）の略で、米国で発祥し、高齢者が自立して生活できるうちに入居して、社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける仕組み。

議員

ジビエ普及事業で備品の整備とあるが、詳しい内容は。

市

高圧洗浄機や皮剥ぎ用のクレーン、電動ウインチ、箱わな等を購入したい。

議員

地域介護・福祉空間整備事業のスプリンクラー設置の3施設は。

市

ケアハウス鳥越、キラッと美川、香林苑の3施設で、整備されれば対象となる施設については完了する。

12/14 予算常任委員会での質問と答弁

議員

ふるさと納税を他自治体へ納税した場合、市の所得税が減収になると聞いた。その減収額は。

市

平成26年度で430万円ぐらいの減収である。

議員

生活保護費返還金を説明せよ。

市

生活保護費支給後に、相続などで資産が入ったため返していただいた。

議員

市民サービスセンターの改修事業は合併特例債を使わないのか。また、支所の取り壊しの予算措置は。

市

事務所の改修費や情報系の機器の改修等で3050万円ぐらいだが、合併特例債の対象になりにくいため一般財源で対応する。取り壊しは除却債で対応する。

政治家が運動会やスポーツ大会に差し入れをすることは禁止されています。

議員

冬期湛水実証実験の対象面積は。美川地域以外でも冬期湛水地域はあるのか。

美川地域10生産組合のうち4生産組合で実施の返事をいただいている。予算上は160haで美川地域の水田面積の6割になる。美川地域以外では43haを予定している。

市

議員

冬期湛水実証実験を2カ月にした根拠は。また、11月から湛水時期であり実験を続けることも大事である。

耕作に影響がない範囲で2カ月とした。水は共有の財産でもあり、美川地域の実験を踏まえ、どういう形で行うか検討していく。

市

議員

松任地域の水位の低下が危惧されるが、水張りは行わないのか。松任地域で水張りを行う場合、各企業の取水データを参考としなければならないと思うが、実験の協力を企業にも呼びかけよ。

美川地域の結果を踏まえ検討していく。また、工業団地の事務局長会議等で話をし、理解を求めたい。

市

議員

美川地域の水源は4〜5mだが、松任地域での陸堀りに規則はあるのか。陸堀りの影響により水位の低下が無いよう注視してほしい。

掘っていい深さの基準は15mまでとなっている。

市

国の関係機関へ提出 意見書

○マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書　（提出者　清水芳文）

○ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書　（提出者　宮中郁恵）

（ブラッドパッチ療法とは、交通事故やスポーツなどでの外傷によって脳脊髄液が漏出し、頭痛やめまい、耳鳴りといったさまざまな症状が起きる疾患である脳脊髄液減少症に対し、硬膜の外側に患者自身の血液を注入し、その漏れを止める治療法。）

私は 賛成・反対しました

○＝賛成　×＝反対 ◎会派名 市民＝（新）市民の声 一創＝一創会 白政＝白政会 創誠＝創誠会	氏名	山口 俊哉	安実 隆直	吉本 史宏	永井 徹史	石地 宜一	小川 義昭	安田 竹司	北嶋 章光	宮中 郁恵	村本 一則	宮岸 美苗	岡本 克行	寺越 和洋	吉田 郁夫	竹田 伸弘	清水 芳文	前多 喜良	藤田 政樹	中西 恵造
	会派名	市民	白政	白政	白政	一創	白政	創誠	市民		白政		創誠	創誠	市民	市民		白政	一創	
白山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市税条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市介護保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

＊賛成反対が分かれたもの　　＊議長（西川寿夫）は採決に加わりません。

政治家がお祭りに寄附や差し入れをすることは禁止されています。

一般質問

市の事業などについて、議員が主張・提言・指摘を行います。
質問時間は1議員30分以内です。

12月会議の一般質問は、12月8日、9日の2日間にわたり行われました。

8日の質問議員

宮中 郁恵 議員 …… 4ページ
山口 俊哉 議員 …… 4ページ
清水 芳文 議員 …… 5ページ
宮岸 美苗 議員 …… 5ページ
永井 徹史 議員 …… 5ページ
石地 宜一 議員 …… 5ページ
藤田 政樹 議員 …… 6ページ

9日の質問議員

安田 竹司 議員 …… 6ページ
安実 隆直 議員 …… 6ページ
北嶋 章光 議員 …… 6ページ
吉本 史宏 議員 …… 7ページ
村本 一則 議員 …… 7ページ

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市ホームページで議会録画映像の配信や、「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になることができます。

http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/

宮中郁恵 議員

Q 簡単にできる認知症チェックを

A タッチ式パネル機器等の導入を検討したい

質　問　タッチ式パネル機器やホームページサイト等の導入で、簡単にできる物忘れ・認知症のチェックを図ることで、認知症が疑われる人を適切に医療機関につなげていく連携が重要では。

答　え　認知症カフェや出前講座等で活用を含めて導入を検討したい。併せて認知症予防協会が無料で公開している認知症自己診断テストを市HPで紹介したい。作成予定の認知症ガイドブックにも、簡易な認知症チェック表を取り入れ、関係機関との連携を図りたい。

他の質問　発達障がい児の療育、子育て応援アプリの推進、高齢者肺炎球菌ワクチン接種

山口俊哉 議員

Q 白山ろくに生涯学習の窓口を残すべきでは

A 各市民サービスセンターに担当職員を配置する

質　問　地域の拠点として活動している公民館の窓口である生涯学習課や白山ろく分室教育課は大切である。白山ろく分室教育課は来年度廃止の方針だが、生涯学習課の業務量が多くなるため残すべきでは。

答　え　各市民サービスセンターに、生涯学習の窓口としての機能も必要であり、担当する職員を配置していく。生涯学習課は、今年公民館の体育館の建設や文化会館の構想作成など臨時的に業務が多かったが、側面から各課が応援をしており、十分こなしていける。

他の質問　市民提案予算について、地震の備えについて、特別支援教育支援員の増員など

政治家本人が参列する場合を除き、葬式の香典等を出すことは禁止されています。

清水芳文 議員

Q 免許証自主返納事業にＪＲやタクシーの制度拡充を

A 制度利用者の皆様の選択肢の拡充を検討したい

質　問　高速道路での逆走事故やブレーキとアクセルを踏み間違える事故が増えている。高齢者の運転免許証返納支援として、今年度からコミュニティバス乗車券の他、北陸鉄道バス利用券を拡充した。さらに、JRやタクシーの利用も選べるよう制度の拡充を。

答　え　高齢者が加害者となる交通事故の撲滅と、高齢者を抱える家族の不安解消のため、JRはICカード利用券が利用できる段階で、タクシーは石川県タクシー協会と協議し、利用者の選択肢拡充を検討したい。

他の質問　認知症対策や高齢者福祉の充実、各種相談の拡充、ラジオ体操で健康増進など

宮岸美苗 議員

Q 介護職確保のための支援策と、金城大学との連携強化を

A 金城大学との協力体制はこれまで以上に行いたい

質　問　介護士養成学校の就学資金の貸し付けや、市内の介護施設で働く場合の家賃補助など、介護職確保・定着させる市独自の支援策を。また、社会福祉コースを持つ金城大学との協力体制の強化を。

答　え　人材不足は福祉分野だけではなく、また資格のない人も介護現場に多く働いていることから、介護福祉学生や介護事業所のみを対象とした支援策は難しい。金城大学とは介護実習生の受け入れを初めとして、これまで以上に連携して人材確保にも努めていく。

他の質問　地下水の水位低下に本格的な調査を、介護保険制度改定に伴う負担軽減策など

永井徹史 議員

Q 子どもたちの「ふるさと文学賞」作品の有効活用を

A 学校の授業や生涯学習の集い等での活用を検討

質　問　受賞された小学6年生の作文で、人権を尊重し差別のない社会をつくることの大切さ、夢を抱き努力することの大切さを考えさせられた。文学への興味喚起にとどまらない、幅広い活用への考えは。

答　え　作品集は配布するだけでなく道徳の授業や多くの市民が集まる場で活用できないか検討したい。また新年度、市内小・中学校の全学級、児童館、公共施設等への配布を検討したい。

他の質問　マイナンバー制度の有効活用、結婚支援策、除雪補助制度の拡充など

石地宜一 議員

Q 県道金沢美川小松線の４車線化の整備を急げ

A 小川ー松本間の４車線化整備を県に引き続き要望する

質　問　県道金沢美川小松線の小川交差点から松本交差点の渋滞が激しいため、一日も早い４車線化整備を。

答　え　多くの優良企業が立地し、来春ジャパンディスプレイも操業開始するなど、本市の産業の振興と市民生活の向上に欠くことのできない基幹道路であり、美川インター、徳光スマートインター、白山インターに接続する交通アクセスの利便性の高さから、引き続き県に小川交差点から松本交差点間の4車線化整備を要望したい。

他の質問　山田市長の1年間の取り組みと成果は、マイナンバー制度についてなど

藤田政樹 議員

Q まちづくり課を新設し、地域活動を支援しては

A 地域活動の支援は必要。設置が必要か検討したい

質　問　今や行政頼みでない、自分たちの地域のことは自分たちで考える、共助の仕組みづくりが必要な時代になっている。各公民館単位に、自由度の高い活動資金を交付して財政支援し、また、まちづくり委員会を設立する。行政機関にはまちづくり課を新設して、地域のコミュニティ活動を支援しては。

答　え　地域活動の支援は必要と考えており、現組織体制の中で対応が可能か、新たな課の設置が必要か今後検討したい。

他の質問　まちづくり会議、都市計画道路

安田竹司 議員

Q 猟友会の有害駆除の委託費を増額せよ

A 今後新年度予算の中で増額も含めて検討していきたい

質　問　有害鳥獣駆除の箱わなの個数は。また今年は何基増やしたのか。さらに駆除した個体の焼却処分場を里山に建設すべき。

答　え　捕獲おりの貸し出しは今年度12基購入、現在保有しているイノシシの捕獲おりは50基ある。今回の補正予算において新たに24基の捕獲おりの購入を予定している。有害鳥獣の専用焼却処分場の建設は、白山郷斎場は老朽化等も進んでおり、設備の更新に併せ検討する。

他の質問　鳥越大日スポーツ施設の活用策は

安実隆直 議員

Q 再生可能エネルギーである小水力発電の普及、推進は

A 白山ろく地域を対象に可能性調査事業を行いたい

質　問　1月に手取川水系直海谷川の砂防堰堤を活用した小水力発電所が稼働する。白山市の豊かな水資源の恵みをエネルギーに活かす小水力発電についての基本構想や普及、推進について市長の見解は。

答　え　第3次白山市環境基本計画案に再生可能エネルギーとして定める予定であり、具体的に手取川水系を活用した水力発電と明記できないか検討している。本市の持つ多様な資源を活用した再生可能エネルギーの導入は、有効かつ重要であると認識している。

他の質問　手取川の水防、上水道用の鉛管と石綿管、良質米産地の再編とブランド化など

北嶋章光 議員

Q 新野球場の建設計画は

A 土地区画整理事業が進捗すれば建設に着手したい

質　問　現時点での相木野球場はいつまで使用可能か。土地区画整理事業で使用できなくなった場合の代替施設である、新野球場の使用が可能な建設計画となるのか。

答　え　土地区画整理事業の事業化が決定されるまでは野球場として使用が可能と考えており、新野球場については、土地区画整理事業が進捗すれば速やかに着手し、利用者に支障がないように事業を進めていきたい。

他の質問　野球場建設に係る主な財源は、手取川の濁水と地下水の低下の影響と対策は

政治家の選挙区内の者への寄附は、一部の例外を除き罰則をもって禁止されています。

吉本史宏 議員

Q 白山を中心とした観光の推進は

A 白山開山1300年を念頭に年間を通して白山をPR

質　問　白山は石川県の最高峰であり、石川県のシンボルの一つとして、県としても大いにアピールすべきだと思うが、さらなる県への働きかけや連携の具体策は。

答　え　1300年の記念事業は、広域的に取り組むことも必要であり、加賀開発連携推進会議、いわゆるオール加賀会議で関係自治体が連携して、白山の魅力アップにつながる発信ができないか協議を始めており、それが整えば石川県にも参画、支援をお願いしたいと考えている。

他の質問　市内小・中学校のいじめ、市内の児童虐待、白山市子どもの権利に関する条例

村本一則 議員

Q 公約に挙げた7つの視点27項目の達成度は

A 公約を踏まえ市政の課題解決、施策推進に努めてきた

質　問　公約の7つの視点、白山ブランドの強化・夢ある地域づくり・元気な地域づくり・安心安全の地域づくり・文化が薫る地域づくり・地域を輝かせる人づくり・未来に誇れる環境づくり、現在までの進行状況、達成度は。

答　え　幅広くさまざまな行政施策に誠心誠意邁進し、一年が経過した。市民、議員各位の理解と協力により市政を進めてきた。課題解決に向けさらに取り組み、市民本位の行政運営を基本に、夢の描ける白山市づくりに取り組んでいきたい。

他の質問　まちづくり会議、健康スポーツ文化、介護離職者ゼロの対策は

視察報告

観光交通特別委員会　11月5日、6日に視察研修しました。

神奈川県伊勢原市　平成大山講プロジェクト推進事業

伊勢原市には古くから信仰の山として栄えた霊峰大山があり、江戸時代には大山詣を目的とした組織「大山講」でにぎわっていました。その大山の魅力を再発見・再評価して、県の支援や知事のトップセールスもあり事業開始1年目で目標の観光入込客数110万人を達成しました。白山開山1300年事業も今まで以上に石川県との連携強化が重要であると感じました。

説明をするイーグルバス谷島社長

イーグルバス株式会社　地域公共交通の取り組み

イーグルバスは埼玉県川越市に本社を置き、路線バスや観光バス事業などを展開しています。利用者がいないバスは環境を汚しているだけで、補助金が出ていれば税金の無駄遣いとの指摘は大いに考えさせられました。イーグルバスの運行データと住民のニーズに基づいたダイヤの最適化、山間地域における住民と観光客の利便性向上の取り組みは、本市の地域公共交通にも大いに参考になるものでした。

広報広聴委員会　11月10日、11日に視察研修しました。

岐阜県可児市　議会活動のICT活用

可児市では、フェイスブック・YouTubeなどSNSを活用して議会の情報を発信しています。議会報告会ではグループ形式での意見交換を取り入れ、参加者全員に発言の機会をつくっています。また、高校生やテーマによる各種団体の構成員も参画したグループ形式での意見交換会が定着し、地元高校のキャリア教育の一つとなるなど、大変活発に活動しています。

可児市前議長川上氏による説明

愛知県津島市では、議会報告会でのテーマを絞っての報告会の様子を視察しました。

政治家が所有する財産を無償で貸し付けることは禁止されています。

常任委員会レポート

総務企画　平成28年度から空き家バンク制度を市全域に拡大

★空き家バンクを促進する考えは。

質問　空き家バンクへの登録が広がらない。促進する制度についてどのように考えているのか。

答え　制度への登録奨励事例として、登録奨励金制度や仲介奨励金制度などがある。登録者にメリットがあるものを考えたい。

空き家を活用して定住人口の増加

★持ち主がリフォームするための補助制度は。

質問　家がきれいなら借りてもいいと考える。リフォームの補助は考えていないのか。

答え　現在、白山ろく地域での改修に対して50万円の補助をしている。市全体への拡大は、制度の利用状況を見て考えていきたい。

文教福祉　多様な介護予防・日常生活支援に向けて

★介護予防・日常生活支援総合事業の開始時期。

質問　移行前後での被保険者、サービスの提供を受ける人、市の負担などのメリット、デメリットは。

答え　設定単価も同じで回数やサービス内容は変わらず、多様なサービスを選べるようになる。住民主体のサービスでは高齢者もスタッフとして参加することで介護予防につながるメリットもある。

多様なサービスを提供

★白山市公民館連合会との意見交換会の中から。

質問　社会教育バスの老朽化をどう考えているのか。

答え　市全体のバス保有状況の調査中で、バスの稼働状況にも差があるので調整していくことを考えている。

産業建設　㈱ジャパンディスプレイに供給する工業用水事業

★市としての対応は。

質問　周辺井戸の影響は小さいという判断で、工業用水道の計画をしているが、水位低下や地盤沈下等が発生した場合の市の対応は。

答え　㈱ジャパンディスプレイの揚水試験を行い、井戸の影響調査と新たな井戸での揚水シミュレーションを基に説明会を開催した。もし水位が下がった場合、市が責任を持って対応する。

建設中の㈱ジャパンディスプレイ白山工場

★具体的な対応は。

質問　水位が低下した場合、くみ上げを抑制するのか。

答え　状況によるが、㈱ジャパンディスプレイの揚水量の抑制、工業用水道の制限なども考え、十分に研究していきたい。

政治家は答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等の挨拶状を出すことが禁じられます。

いただいたご意見は、
全議員と市長をはじめ執行部が
出席する市議会全員協議会の
場で報告しました。

意見交換会

総務企画常任委員会

行政相談委員

行政相談について（10月23日 7名参加）

主な内容

相談業務

委員の地道な広報活動で以前に比べ知られるようになった。民生委員と比較するとまだまだ認知度が低い。

議会からの意見　身近な相談相手であることを市民へ周知し、相談窓口の利用を促すことが今後の課題。認知度を高めていくことも必要。

業務を通して感じること

行政相談は地方公共団体の事務を対象としていないが、市の業務の相談を多く受ける。しかし、市役所内で行政相談はあまり知られておらず、案件を持って行きづらい。

議会からの意見　市は行政相談を理解し、委員からの案件について真摯に対応することが必要。

文教福祉常任委員会

白山市公民館連合会

今後の公民館のあり方（10月29日 11名参加）

主な内容

公民館職員の雇用条件

地域住民のために献身的に働く職員の給与の見直しや、中小企業退職金共済制度に加入し、掛け金を予算に計上してほしい。

議会からの意見　公民館職員の給与、勤務実態の現状を行政としてしっかりと見ていくべき。他市の状況も調査し、連携や意見交換も必要。

社会教育バス

取得してからかなり年数が経ち走行距離も延び、雨漏りやガムテープで補強しているバスもある。安全運転に努めているが、車体を心配しながらの運転となっている。

議会からの意見　事故等が起きてからでは手遅れ。早急に更新すべき。

産業建設常任委員会

松任市農業協同組合・白山農業協同組合

市内JAの現状と課題（10月19日 10名参加）

主な内容

新規就農者の育成

担い手不足が懸念されている中、若者の農業に対する意欲を高める環境や経営の方策を共に考えてほしい。

議会からの意見　市とJAで活発に意見交換を行い、関係機関とネットワークを構築し、農業を盛り上げていくことが重要。

農業振興

企業との連携を図り、市で生産している作物をベースに特徴的な商品を開発・販売する6次産業の政策を協議してほしい。

議会からの意見　消費者の購買意欲や工夫、行動力に優れる女性の能力を積極的に活用し、推進していくことが大事。

政治家が会費制でない会合で飲食代相当額を会費として支払うことは禁止されています。

皆さんのご意見を市政に
～議会報告会～

11月11日（白山ろく地域）

市民意見

平成28年度から公民館に市民サービスセンターが入ることで、公民館が手狭になり文化祭などの行事が開催できるのか懸念している。

議会回答

執行部から地元と協議していると説明を受けている。このような話があったことは執行部に伝えたい。

委員会での協議

山ろく地区町会区長会協議会や公民館関係者と意見交換を重ねる中で、市民サービスセンターの体制を整えてきた。公民館と同じ建物になれば十分に連携が取れるので、協力して進めていきたい。また、公民館自体が間借り状態の館もあるなど各館の状況が異なることから、実情を考慮しながら関係各位と協議、検討していきたい。

市民意見

有害鳥獣対策について、周辺自治体の制度も参考に検討してほしい。

議会回答

市では捕獲柵設置など対応しているが、サル等にも知恵があり対応しきれない状況。補助については周辺自治体と最低限同じ水準にするよう伝えたい。

委員会での協議

猟友会への委託料についてはそれぞれ違いがあるが、対象鳥獣や活動内容は小松市、能美市と同じである。柵の設置では、白山市は個人を対象に補助しており、小松市、能美市は個人に対する補助はしていない。

市民意見

白山ろく地域では100万円を超える除雪機械でないと対応できない。個人で購入する際の市の補助率1／4の拡充を。

議会回答

補助制度の見直しを執行部に伝えるが、地域からも要望を出してほしい。

委員会での協議

町内会等に対する補助（補助率2／3、限度額100万円）もあり、150万円までの機械に対応できるので、町内会で対応していただくこともできる。今後、利用者の声などを聞きながら制度の改正を検討していきたい。

市民意見

白山ろく地域は高齢者世帯が多いので、デジタル防災行政無線はサービス低下がないよう整備してほしい。

議会回答

デジタル防災行政無線の屋外スピーカーは、400m以内の範囲で音声が流れることになっており、また、各戸のスピーカーからも流れる予定である。なお、戸別受信機は停電時の放送はできないが、デジタル防災行政無線は停電時に対応している。

委員会での協議

平成27年度は無線中継局3カ所の建設と屋外スピーカー、戸別受信機の実施設計を行い、平成28年度に設置を予定している。

有権者が政治家に寄附を求めることは禁止されています。

市議会では、直接皆さんに議会活動の状況を報告し、議会や行政に対するご意見、ご提言を聞く貴重な場として議会報告会を開催しています。

いただいたご意見は、12月会議中に各常任委員会が執行部に現状の確認を行いながら協議しました。

今回は、11月11日と20日に開催した中からいくつかご報告します。

11月20日（千代野地区）

市民意見

避難訓練の際に防災行政無線がほとんど聞こえなかったので、増設も含めて改善してほしい。

議会回答

住宅の気密性などが向上し室外の音が聞こえにくくなっていることから、執行部に伝えたい。

委員会での協議

本年度、千代野地区にスピーカーを1基増設する予定をしている。他地域からも同様の意見が多数寄せられており、防災行政無線整備と合わせて、松任・鶴来地域における効果的な伝達方法を検討していきたい。

市民意見

道の駅（仮称）白山への交通手段を考えてほしい。

議会回答

めぐーるの運行経路は毎年見直しているので、道の駅をルートに加えることも提案したい。

委員会での協議

道の駅は平成30年春の開業を予定している。めぐーる等の公共交通の乗り入れについては、道の駅の整備の中で検討していきたい。

市民意見

千代野中央公園でこれまで2回の倒木があった。付近には通学路もあることから、大きな事故につながりかねなかった。しっかりと調査をしてほしい。

議会回答

常任委員会に意見を伝え、結果は議会だよりで報告したい。

委員会での協議

当公園は開設後33年が経過し樹木が相当成長しているので、倒木の恐れがある危険な樹木について早急に調査し、計画的に枝切り・伐採をして事故防止に努めたい。

市民意見

公園での犬のふんの始末が悪いので、ポイ捨て条例の制定が必要ではないか。

議会回答

啓発活動も必要だが、ポイ捨て条例についても研究したい。

委員会での協議

公園では飼い主がマナーを守った上でペットの散歩を認めているので、リードなしでの走り回りやふんの放置については、飼い主へマナー向上の啓発をしている。罰則を設けるポイ捨て条例の制定ではなく、市の環境基本条例の下で啓発を中心に働きかけていきたい。

市民の声

「市議会に期待すること」をテーマにご意見をいただきました

観光誘客に期待する

道法寺町　田村（たむら）　修一（しゅういち）さん

北陸新幹線が開業し金沢市がにぎわう中、白山市の誘客施策に期待しています。

観光客の方々には、白山比咩神社をメーンに獅子吼高原や白山手取川ジオパークなど豊かな自然にぜひ触れてほしいです。しかしながら観光客が金沢からどのようにして鶴来方面に足を運べばよいか悩まれていることを時々耳にします。

より一層のPR活動と石川線やバスなどの公共交通機関の利便性を高めていただきたいと思いますので、議会での活発な提案や議論をお願いします。

バランスからブランドへ

宮永町　得田（とくだ）　恵裕（しげひろ）さん

白山市は農商工にバランスの取れた環境で住み良い街だと思います。ただ、それぞれにブランド力が不足していると感じます。

私は農業に携わっていますが、これほど農業環境に恵まれた場所は無いと思います。しかし特徴ある対応ができていないのが現状です。例えば農業特区を誘致し、特徴を生かした先進的農業を目指してはどうでしょうか。将来の白山市を展望し、各分野でブランド力をつける火付け役として対応していただければ、さらなる市政発展につながると確信しています。

「優秀賞」受賞！

議会だより41号が、第28回近畿市町村広報紙コンクール（毎日新聞社主催）で優秀賞に選ばれました。

これまで2度優良賞を受賞したことはありましたが、優秀賞は初めてで、審査員からは「短い文章だがポイントを押さえていて分かりやすい」、「余白を生かしたレイアウトなど議会だよりとは思えない」など、高い評価をいただきました。

今回の受賞を自信に、これからも見やすい、分かりやすいを第一に考え、皆様に読んでみたいと思われるような紙面づくりに取り組んでいきます。

議会傍聴をお待ちしています

本会議当日、市役所７階で受け付けていますのでお気軽にお越しください

3月	1日（火）	10:00～　提案説明
3月	9日（水）	10:00～　一般質問
3月	10日（木）	10:00～　一般質問
3月	24日（木）	15:00～　表　決

広報広聴委員会

委員長：寺越 和洋　副委員長：宮岸 美苗

委　員：山口 俊哉、安実 隆直、吉本 史宏、北嶋 章光

針金や糊、熱も使わない製本技術「エコプレスバインディング」を採用しています。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

発行日／平成28年2月1日　**発行**／白山市議会　**編集**／広報広聴委員会　**事務局**／白山市議会事務局議事調査課

〒924-8688　石川県白山市倉光二丁目１番地　TEL：076(274)9580　FAX：076(274)8510

E-mail：gikai@city.hakusan.lg.jp　**ホームページ**：http://www.city.hakusan.ishikawa.jp

ゆきママとしずくちゃん